

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 幼児教育課

会議の名称	第1回 茅野市保育所運営審議会		
開催日時	令和2年7月16日(木) 午後7時00分～午後8時40分		
開催場所	茅野市役所 7階 701会議室		
出席者	※委員出席：戸田允文会長、鶴石悠紀副会長、野口幸子委員、小海一志委員、降旗美鈴委員、山崎友美委員、笹岡八重子委員、小澤佳奈委員、濱勝之委員、永嶋陽子委員、花岡伴子委員 ※市側出席者：今井市長、有賀こども部長、柳澤幼児教育課長、飯島保育総務係長、北沢幼児教育係長、正木保育園管理・総務担当、守屋北山保育園園長		
欠席者	なし		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局(柳澤課長)	1 開会 (柳澤幼児教育課長)		
市長	2 委嘱書授与 (今井市長から各委員へ)		
市長	3 市長あいさつ 皆さんこんばんは。大変お忙しい中こうして皆さま方にお集まりいただきまして、茅野市保育所運営審議会、第1回ということになりますけれども、誠にありがとうございます。ただいま委嘱状を皆さま方にお渡しをさせていただきました。これから皆さま方に大変お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。 さて、今年は新型コロナウイルスが猛威をふるっておりまして、何をやるにしても色々難しい局面があります。市の方も、当初1月の末くらいから、こうした対応をしてきたところであります。皆さま方にも、公共施設の閉館など、場面場面でご迷惑をおかけしたと思っています。徐々に公共施設等は通常に戻すかたちになってきている所でございます。そうした所、本日も東京では、80人以上感染者が発症しており、また長野市でもお一人発症したということで、なかなか気が抜けない状況が続いております。そうした状況下において、保育所の方も非常に難しい舵取りを強いられている、そんな状況が続いております。特に保育所の場合は、小さなお子さんをお預かりするということもあります、また働くお父さんお母さん方をしっかりと支えていかなければいけない。非常に運営については、悩むことも多い訳であります。そうしたことから、皆さま方から保育所の運営、茅野市の保育行政についてご意見、またご提言を頂ければ大変有難いと思っている。今年は非常に難しい舵取りになりますけれども、皆さま方にお知恵を貸していただきますよう、お願い申し上げます。大変お世話になります、どうぞよろしくお願い致します。		

事務局	4 自己紹介 (委員、事務局) 本年度最初の会になりますので自己紹介をお願いしたい所ですが、会議時間短縮のため、お手元の名簿をご確認頂くことで、省略をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。
委員	5 正副会長の選出 例年通りでいかがでしょうか。
事務局	ただいま委員さんから、慣例により例年の通りでどうかというお話がありました。慣例によりますと、民生児童委員協議会の正副会長さんをお願いしております。皆さんいかがでしょうか。異議なしということで、ご承認をいただいたということで、今年度は会長に戸田允文さん、副会長に鶴石悠紀さんに決定させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。それでは戸田会長さん、鶴石副会長さん、前の席にお進みください。
会長	6 正副会長あいさつ 改めましてこんばんは。例年通りということで、会長をやらせていただきます戸田といいます、よろしくお願い致します。先程市長さんからお話がありましたように、コロナが拡大・発生しているということで、極力皆さんのご意見をいただきながら、スピーディーに進めて行きたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。
副会長	皆さんこんばんは、長峰の民生児童委員、宮川地区の会長でございます。去年、一昨年、みどりヶ丘の問題がありました。何度も議論を重ねて、大変揉めたのですが10年間は現状で、耐震工ことをして、なんとかやるということで落ち着きましたが、まだ笹原保育園の方が課題として残っているようでございます。私の一番上の孫娘が、今年からよこまち認定こども園の保育士になって、今やっと2・3カ月経って、助走運転をしている所です。なんらかの縁があるのかなと思って、ここに座っております。よろしくお願い致します。
事務局	ここで市長は公務の為、退席となります。 茅野市保育所運営審議会条例の第5条に基づき戸田会長が議長に就任
事務局	7 協議・説明事項 (1) 審議会等の会議の公開について 事務局は、本日開催される保育所運営審議会について、資料の「審議会等の会議の公開について」の資料に基づき公開の対象となる旨を説明した。
会長	議長は、会議の公開について一同に諮ったところ、全員異議なくこ

	<p>れを了承した。</p>
事務局	<p>(2) 保育園の運営状況について</p> <p>事務局は、保育園の運営状況、保育園等入所児童数、保育園等の利用の仕組み、保育料の設定、特別保育事業、特色ある保育園運営について、資料に基づき説明した。</p>
委員	<p>今年度からちのせいぼ幼稚園も認定こども園へ移行し、公立と私立、色んな機能を持つ園が茅野市には幾つか出来ている訳ですが、その中で茅野市の子どもには、同じようにレベルの高い保育をしていただきたい。そこで働いている保育士さん達の、研修やレベルアップは大事なことだと思うので、ぜひ続けて行っていただきたい。一日保育士体験ですけども、茅野市で取り組んで、かなり長くなっている、聞くところによると長野県内のあちらこちらの市町村でも、大事な取り組みということで、ここ1、2年でやり始める市町村もあるということを知っている。やり始めた茅野市としては、色んな方に体験して頂いて、保育園での子どもさんの様子を見たり、学びをして頂いたりということなので、ぜひ進めて欲しいなと思います。</p>
副会長	<p>初めてなので教えて欲しいのですけれども、保育料の算定を見ると、年収と書かれている。通常所得税は年収でなく所得を基準にする訳ですが、サラリーマンはすぐわかるが、自営業は必要経費等どう反映するか、かなり難しいと思う。ここでいう年収は、本当に収入基準でみるのですか、それとも経費等も加味した所得に近いような形で年収を捉えて判断しているのか、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>基本的に、23 ページ以降を見て頂けるとわかりますが、税額で金額が決まってきます。ただ先程免除対象のところでは年収 360 万円のご説明をしましたが、そちらにつきましては、標準的な世帯をモデルとして国の方で、示している金額になっております。</p>
副会長	<p>そうすると職業によっては、年収は高いが必要経費も高いという場合もあるが、そういう場合も具体的にガイドラインがあるのですか？</p>
事務局	<p>推定年収ということになっておりまして、市県民税の税額をもとにして、そこから推定年収を出しています。基本的には税額で算定しています。年収と書いてありますが、所得ということになります。</p>
副会長	<p>よくわかりました。もう一点つまらない質問ですが、議事録というのは幼児教育課で作成するのですか。</p>
事務局	<p>幼児教育課で作成させていただきます。</p>

副会長	議事録は副会長が作成すると、後でいわれても困ると思ったので。
事務局	事務局が作成をしまして、皆さんにご確認頂く機会を設けさせていただきますので、お願いします。
事務局	(3) 茅野市保育園管理計画に基づく保育園の整備等について 事務局は、資料に基づき、茅野市保育園管理計画における、保育園の整備及び保育園の統廃合の検討について説明した。
副会長	民営化ということは、少なくとも大赤字にならないという前提でないと、引き受ける人はいない。そこで全国的にみて、民営化された25人~35人位の定員の保育園で、なんとかぎりぎりで行っています、という園はあるのですか？それがあちこちにあつて、経費の安い田舎の方であるということなら可能性はありますが、全くない様ではうまくいくのかな、と不安がありますが、なにか事前に調べていればお聞きしたい。
事務局	沢山ではないと思いますが、無事に運営をされていて、それなりの利益を出している所もあります。
副会長	この規模でですか。
事務局	はい。
副会長	それでは、やりようはあるということですね。
事務局	そうですね。
事務局	(4) 茅野市子ども・子育て支援事業計画における事業の進捗状況について 事務局は、資料に基づき、計画の進捗状況について説明した。
副会長	例えば33ページの、午後7時まで実施する箇所数等の数字について確認したいのですが、この表もどこの表も、「確保方策—量の見込み」が一番下の欄にあり、量の見込みというのは、おそらく来年どのくらい再来年どのくらいかを、事務局あるいは管轄部署が調査をして見込まれているのですが、それに対して確保方策は、もうちょっと頑張ればここまで行ける、という対策をうてれば、ここまで行くという理解でよろしいのでしょうか。
事務局	33ページの例でご説明しますと、量の見込みというのは、この位の人数があつて、実際の利用者がこの位いるだろうな、というのが①です。二番目として、それを受け入れるキャパシティとしてどのくらいあるのか、というものが②の確保方策になりますので、この差は見込

副会長	<p>みよりもキャパはありますよ、という見方になります。</p> <p>わかりましたが、聞きたいのはそのことではなくて、②－①というのに数字を入れてみても、この数字は何を見ているのか解らないですよ。実児童数というのは実際の利用者数をいっている訳ですよ。そうすると確保方策から実児童数を引けば、まだ余裕があるとか、足りなくなってきたりとか、わかると思うのだけど、②－①だと殆んどが0になって、何をみているのかこの表からは推定できないですね。それで33ページの表だけでいうと実児童数は確保方策よりも、見込みよりも上回っている、そうすると相当頑張らないと足りなくなるよ、ということなのか少子化だからなんとかかなるのか、それを見るのであれば②から実児童数を引いた数字を将来の政策範囲を判断する数字として、見るべきじゃないかと思うが、その考え方はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>確かに、委員のおっしゃる通りです。計画を作る際にこういう表現になっていたのも、そこに実児童数を入れ込んでしまったので、わかりにくい表になっています。来年以降、皆さんにお示しする時は解り易いかたちに変更したいと思います、よろしくお願い致します。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>(5) その他</p> <p>事務局は資料に基づき、保育園における新型コロナウイルスに係る対応について簡潔に説明した。</p>
委員	<p>今のお話を伺いまして、収束していく考えでのお話だと思うが、今後茅野市で出た場合、そういう時の対応の仕方はどのようになりますか。</p>
事務局	<p>収束が前提ではないですけど、出来るだけやっていきたい。ただ基本的には出来る方向で考えるのですが、諏訪市で出た場合などは、行事は中止させて頂くことを基本に考えています。何を一番大事にするかという、子ども達や保育士さん達の健康、感染しないことに重きをおいているので、実施すると計画していても状況が変わってくれば縮小、中止していく、という形で考えております。</p>
委員	<p>保護者の方からも、両意見があります。預かってほしい方、お子さんのコロナ感染の怖い方、色々な意見があると思いますので、対応が難しいとは思いますが、今いわれた通り、子ども達の安全を第一に考えて対応していただきたいと思います、よろしくお願い致します。</p>
副会長	<p>保育園でも小学校でも家庭でも、手洗い・うがい・マスク・消毒は当たり前でやることになっている訳ですが、首都圏の保育園でもクラ</p>

事務局	<p>スターがでました。保育園・小学校では、園児や保育士は毎朝、体温を測っていますか。つけている訳ですね。発見されたら隔離するとかして、保健所に連絡してPCR検査を受けられるような仕組みとなっているのですか。なかなかPCR検査は全国的にみても日本は少ない。保健所や検査機関との仕組みを作っておかないと、2、3日遅れてしまうと広がってしまう。小学校も含め教育委員会自体が仕組みを作っておいて、きちんとした対策ルールを作って、優先的に検査を受けさせてもらえる仕組みがあると安心だと思う。</p> <p>PCR検査は県主導で、保健所でやっております、教育委員会に言ったからといって、すぐ出来るというものではないです。そのところは学校にしても保育園にしても、発生したかしないか、その後の対応については県の方と連携を取りながらやるということが、既に決まっておりますので、そんな形でお願いしたいと思います。ただし、PCR検査等については教育委員会主導ではなく、まずお子さんのことについては保護者の方から連絡を頂く、先生等職員については職員本人からいってもら、それぞれ園なり学校の方へ速やかに申し出てもらう、というのが重要になってきますので、周知の徹底を図っていきたくて考えています。</p>
会長	他に何かありますか。
事務局	<p>その他として、笹原保育園の民営化事業者選考委員会の委員について、お願いがあります。先程笹原保育園の民営化についてご説明させていただきましたが、これから行われる民営化事業者選考委員会に、保育所運営審議会から1名の選出をお願いしたいと思います。</p> <p>事務局の腹案としては、主任児童委員で保育士・園長・子育て支援関係の職場でご勤務の経験のある、野口幸子委員にお願いできればと考えております。</p>
会長	事務局から野口委員をとの提案がありましたが、よろしいでしょうか。ご異議なければ、野口委員よろしく申し上げます。
委員	よろしく申し上げます。
こども部長	<p>8 閉会 お礼のあいさつ</p> <p>皆さんお忙しい中お集まりいただきまして、慎重な審議、活発なご意見を出して頂く中、スムーズに終わらせていただき誠にありがとうございます。</p> <p>昨年の保育を取り巻く状況として、本日もご説明申し上げましたとおり、大きなものとしては保育無償化というのが全国的にありました。また茅野市の中においては中大塩保育園、宮川第二保育園の</p>

リノベーション、病児・病後児施設の新設、みどりヶ丘保育園と笹原保育園の検討、先程ご説明しました子ども・子育て支援事業計画第二期の策定、ちのせいぼ幼稚園の認定こども園化、横内には市内初の企業主導型の保育施設が出来ました。5～6年掛けてやっていくようなことを昨年、一年間で、という形でした。

また、本年についてはみどりヶ丘の耐震化や、先程決めて頂いた笹原保育園の民営化が待ち受けております。その中でこのコロナの騒ぎということで、新しい生活様式ということもありますが、そんな中で我々もコロナと共存をしていかなければならない、と考えているところであります。このことは、手探りで進んで行かなければならないことで、本当に目隠しをされて暗闇の中を進んで行くような気持ちでおります。そんな中ではありますけれども、保育園のコロナ対応についての民間アンケートでは、保育園とは子どもの育ちの場であると共に、働く親御さん達にとって無くてはならないインフラなんだよということを再認識した結果が出されていまして。そんな中で今日、保護者会連合会さんの方から情報誌をいただきまして、その中にコロナだからだと思いますが「子どもと一緒に我が家のお家時間」ということで、お子さんと保護者の方が一緒にどうやって過ごしていたか、役員の方々が写真入りで紹介されていまして。これを読ませて頂くと、一日保育士体験の話でもありましたが、家庭の中で子どもの成長と共に、親も親として育っていく姿をみるにつけて、茅野市の子育てはこれからも力強く進んでいこうなどと、感じさせて頂いた、本当に良い冊子を作っていただきありがとうございました。

今後も皆さま方にお力添えをいただき、茅野市の保育所行政を力強く進めて行きたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどお願いすると共に、皆さま方のご健康をご祈念いたしまして、一言お礼の挨拶とさせていただきます、本日はどうもありがとうございました。

事務（柳澤課長）

以上をもって、本日の会議日程のすべてを終了した。柳澤課長は、午後8時44分に閉会を宣言した。